

一年間の振り返り	楽市保育所 令和5年3月	
運営管理	職員間の連携を密にとりながら、飯塚市の保育理念、保育方針、保育目標等設定した保育内容を実践し、目標を達成するように努めました。	
守秘義務	保育業務の中で知り得た秘密情報については、全職員に守秘義務の徹底を図りました。	
安全・危機管理	毎月の防災訓練(火事・地震・水害・不審者対応など)を実施し、研修や職員会議などで危機管理意識を高め合うことができました。また保育中にケガが生じた場合は保護者に経緯や対応を説明し、職員会議等で反省及び保育の見直しを行うとともに環境の改善を図りました。	
保育環境	子どもたちが心地よく過ごせるよう保育所内の清掃を常に心がけ、また、活動に合わせ室内の温度、換気、照明等保育環境の整備に配慮しました。	
健康・衛生管理	新型コロナウイルス感染症予防のために、手洗いはじめ、マスクの着用、消毒、検温、部屋の換気等徹底して行いました。感染症が発生した時は保護者に情報提供を行いました。また、子どもたち一人ひとりの健康状態を把握し、その子の体調に合わせた保育に取り組みました。更に、健康診断により子どもの健康状況を保護者と共有しました。	
保育内容	「子どもの人権」に配慮し、一人ひとりを大切にしながら年齢と発達段階に応じた保育を実践しました。基本的な生活習慣については家庭と連携を取り、子どもの状況に応じて対応しました。	
食育	食物の大切さを知るため、4.5歳児が野菜を栽培し、育てる楽しさや大変さを体験しました。また、収穫した野菜を食べることにより食への関心が高められました。	
子育て支援	保護者とのコミュニケーションを大切にすることを心掛け、子育ての悩みや不安等の相談に対応し話し合いを行いました。今後一層、子どもたちが健全に育っていくよう意思疎通を図っていきます。	
地域交流	新型コロナウイルス感染症防止の観点から公開保育は短時間での見学に、地域交流は年長児の作品展を行いました。また、実習生の受け入れを行いました。来年度は検討していきます。	
苦情報告	色々なご意見ご要望はありましたが、その都度真摯に受け止め、改善を図りました。第三者委員にまでいくような相談等はありませんでした。来年度も苦情につながらないように、職員一同人権に配慮した保育を行っていきます。	
外部評価	<ul style="list-style-type: none"> ●外国籍の子どもたちへの人権に配慮し、子どもの発達援助を行う保育を実践している点は評価できる。 ●保育のために環境が整備され保育方法に配慮が見られた。 ●保護者とのコミュニケーションを大切に、家児相などとも連携を図り、子育ての悩みや不安等を改善できた点は評価できる。 	<p style="text-align: right;">松岡 えりこ 氏名 鬼丸 雪枝</p>